

第54号

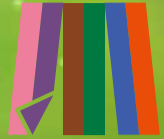
2020年3月発行

【発行元】  
港区芝地区総合支所協働推進課  
発行部数31,000部



# 芝地区地域情報誌

MINATO CITY



『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

## 新橋SLビール

### サラリーマンの聖地・新橋に オリジナルクラフトビールが誕生しました！

サラリーマンのまち、おやじの聖地と呼ばれる新橋。その新橋を象徴するオリジナルのビール「新橋SLビール」が誕生しました。

企画したのは日本テレビグループで、地元企業の株式会社日テレ7。同社には地元地域の消防団で活動する社員がおり、地域交流のなかで「地元のお酒がない！」「新橋を盛り上げたい！」という思いがつのり、「新橋SLビール」誕生のきっかけになったそうです。

そして地元町会である愛宕一之部連合町会の丸哲夫会長、ニュー新橋ビル商店連合会の長尾哲治会長らと「新橋地域を元気にしたい」というコンセプトをもとに協議を進めました。

ビール醸造は三重県伊勢市にある伊勢角屋麦酒。その味わいは、濃厚なフルーツを感じさせる香りが特徴です。無濾過でホップ由来のフルーティーでジューシーな味わいと、フレクされた大麦やオーツ麦をブレンドすることで柔らかくなめらかな口当たり。さっぱりとした甘みと抑えめな苦みのニューイングランドIPA\*で「記憶に残る新橋な味」を表現しています。



伊勢角屋麦酒・谷水和輝工場長



企画を進めた愛宕一之部連合町会の丸哲夫会長(右)とニュー新橋ビル商店連合会の長尾哲治会長

新橋の駅前のシンボル——SL蒸気機関車がネオン輝く夜の街に照らされて7色に輝く！そんなワンシーンを詰め込んだラベルデザイン——このラベルを手がけたのはタツノコプロ。「ハクション大魔王」の「それからオジサン」や「魔法のツボ」、「ヤッターマン」の「おだてブタ」。おやじ世代にはなつかしい人気キャラクターがおしゃれにちりばめられています。女性も手にしたくなるおしゃれなデザインです。



©TP

「それからオジサン」、「魔法のツボ」、「おだてブタ」おやじ世代にとってはおなじみのキャラクター

「新橋SLビール」のコンセプトには東日本大震災復興支援の側面もあり、原料には福島県いわき市のお米「Iwaki Laiki」も使用しています。いわき市と港区及びニュー新橋ビル商店連合会とは「商店街友好都市との交流に関する基本協定」を締結しており、「いわき市のために力になりたい」という地元住民の思いが込められています。

製造については、クラウドファンディングを活用し、100万円以上の資金を調達しました。本年1月より支援者にはリターンとして「新橋SLビール」の提供が始まっています。

実際に、支援者の方に飲んだ感想を伺ってみると「新橋ということで渋めのものを想像していたけど、フルーティーでおいしかった」(20代・女性)、「香りが華やか！乾杯や食前酒として気分が上がるかも」(50代・女性)、「ビールが苦手な人にも飲みやすい。幻想的でかわいいラベルデザインが良い」(40代・男性)、「さわやか

\* IPA … ビールのスタイル、ペールエール—一種インディア・ペールエール。ほかのスタイルにはラガーなどがある。



クラウドファンディングで1,076,727円を調達



でとっても飲みやすかった！」(20代・女性)など、好評を博したようです。

現在「新橋SLビール」を飲めるお店は、新橋駅前ビル1号館のクラフトビアバーなどに限られています。今後は、ビールを増産して、新橋の酒販店・コンビニエンスストアなどで販売予定です。

ビールラベルの背面には「港区シティプロモーションシンボルマーク」が入っています。港区の魅力やブランドを国内外に広く発信する企業や団体などが使用を認められるもので、販売を目的とした商品への使用が決まったのは「新橋SLビール」が第一号となります。

取材・文：菊池 弓可

#### 港区シティプロモーションシンボルマーク

シティプロモーション戦略に掲げる6つの都市イメージを表すイメージカラーを使い、縦縞に染め上げた「のれん」をモチーフにしています。また、風にゆれる3つに割れた「のれん」は港区の頭文字のMの形にもなっています。

このマークは、これまで築き上げてきた「港区(MINATO CITY)」の魅力やブランドが表現されているだけでなく、区の都市イメージを実現すべく果敢に挑戦していく「意気込み」と、多くの人々を受け入れる「想い」が込められています。

今様色	国内外に開かれ多様性を受け入れる都市
杜若色	文化芸術の彩りと歴史が息づく都市
鷹色	安全で安心できる都市
常盤色	街並みの美しさで魅了する都市
瑠璃色	アクセシビリティに富んだ便利な都市
赤橙	温かい優しさで活気に包まれる都市

#### Information

株式会社日テレ7  
東新橋一丁目6-1 日テレタワー 23階  
TEL 03-5537-7714 (担当前田)  
<https://www.ntv7.jp/>





# 東京慈恵会医科大学附属病院通信・最終回

## 地域における慈恵大学及び慈恵大学病院の果たす役割

再整備計画を進めている東京慈恵会医科大学附属病院では、去る1月4日に新外来棟と母子医療センターがオープンしました。6回にわたった本連載も今回で最終回。学校法人慈恵大学の栗原敏理事長にお話を伺いました。

1881年に前身である成医会講習所が創設され、140年目を迎える東京慈恵会医科大学附属病院では、創設者高木兼寛の精神を継承して、患者さんに寄り添い、適切で最良の医療を提供してきました。しかし、竣工以来57年を経た旧外来棟は老朽化が進み、利便性やバリアフリーへの対応などが十分とはいえません。そこで、東京都より旧港工業高校跡地を借用して、都から要請されていた母子医療センターを、また旧大学本館と大学2号館を取り壊した跡地に、新外来棟を開設したのであります。



学校法人慈恵大学 栗原敏 理事長



新外来棟と母子医療センター

新外来棟では患者さんの利便性を考え、関連のある診療科をまとめて配置しました。また、通路を広くして患者さんの往来に配慮、混雑を避けるために待合の空間を広く取り、快適に受診していただけるよう工夫しています。

1階のサポートエリアにある患者支援・医療連携センターでは、紹介患者さんを受け入れるとともに、紹介医へ患者さんの診療情報をお返しして、病診連携を推進しています。また、救急部は都の要請に応じて救急患者さんを円滑に受け入れられるように態勢を整えました。

港区在住の若い方が増え、小児医療や産科医療のニーズが高まっていることを踏まえ、母子医療センターでは、正常分娩から高度な医療が求められる小児・周産期医療まで、さまざまな要望に応えてまいります。



新外来棟では再生医療を行う際の細胞調整施設を備えました

学校法人慈恵大学としての「西新橋キャンパス再整備計画」は一段落します。今後は、旧外来棟の跡地に大学本館を建て、キャンパス内に散



世界中の「美味しい」を集めた食のセレクトショップ カフェ DEAN & DELUCAがオープンしました

在している基礎医学講座を集約するとともに、大学のシンボルだった旧大学本館の中央講堂に相当する講堂などを設置し、教育・研究の殿堂としたいと考えています。

学校法人慈恵大学では、社会との関係を重視しつつ医学・医療の情報を適切に発信することで都心部の地域の大学としての役割を果たし、さらに世界を視野に入れた医科大学としての活躍と飛躍を目指していきます。



ハイリスクのお産に対応できるよう備えられた分娩室。周産期の救急患者さんに迅速に対応します



通常のCTやMRIは主に「形をみる」検査ですが、PET CTは「機能を見る」最新の検査です。形のみでは判断が難しかった病気の診断や、形には異常をきたしていない早期の病気の発見などに非常に有効です

取材：米原 剛  
写真・資料提供：学校法人 慈恵大学

### Information

学校法人 慈恵大学  
西新橋 3-25-8  
TEL 03-3433-1111(大代表)  
http://www.jikei.ac.jp



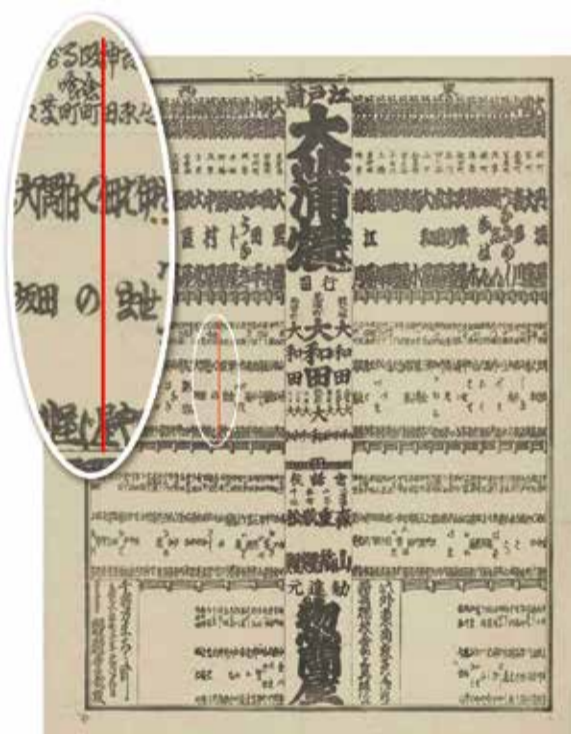
## 芝の老舗

老舗の活鰻卸問屋  
＝「三和淡水魚株式会社」＝

縄文時代から日本人が食してきた「鰻」。現在のよう、鰻を開き、タレをかけて食べるようになったのは、醤油やみりんの歴史とも関わりが深く、18世紀頃からと言われています。18世紀の後半には、「江戸前」というのは、「江戸前の鰻」を意味するほど、江戸っ子は鰻の蒲焼きを好みました。

芝地区で活鰻の卸問屋を営む三和淡水魚株式会社の直営店「株式会社ての字」は、文政10年(1828)、江戸幕府第11代徳川家斉將軍の時代に創業した老舗です。初代の海老屋鉄五郎は、芝田町(芝2丁目)に魚屋を構え、徳川二の丸の御用達商となりました。当時、その付近は江戸前漁業の市場として栄え、鰻は水産物の一つでした。

屋号は「海老屋」ですが、当時は名前の頭文字をとって「〇の字」と呼び合う習慣があり、鉄五郎は親しい仲間から「ての字」と呼ばれていました。江戸時代のミシュランガイドのような、嘉永5年(1852)に刊行された江戸の鰻屋の見立番付「江戸前大蒲焼」には「てのじ」の文字がみられます。また昭和3～8年頃に同業店の社員が描いた風景画には、金杉橋のほとりに「ての字」と書かれた店の様子が描かれています。



嘉永5年(1852)に刊行された江戸の鰻屋の見立番付「江戸前大蒲焼」(都立中央図書館特別文庫室所蔵)



芝2丁目の「うなぎの小ノ孝」社員が描いた昭和3～8年頃の金杉橋周辺



「ての字」9代目当主の鈴木治社長

### 芝地区と結びつく「鰻」

現在、三和淡水魚株式会社は慈恵医大の近く、西新橋にあります。この辺りは鰻屋が多く、近隣の店にも鰻を卸しています。

明治時代よりこの界隈は新橋花柳界といわれ、日本一の社交場と称されるほどの発展を遂げました。華やかな遊びで栄えるまちには、精力を補う食の需要が高まったのでしょうか。

鰻は芝のまちに結びついた色気ある食材なのかもしれません。



鰻専用の包丁。左から京都、大阪、名古屋、関東

### 活鰻卸問屋に生まれて

9代目の当主、鈴木治社長は、芝のまちで生まれ育ちました。祖父の鈴木四郎は、老舗鰻問屋「ての字」の6代目酒井金七に指導を受け、戦後、酒井と共に三和商会(現在の三和淡水魚株式会社)を設立しました。

鈴木社長は大阪で修業を積んだのち、家業である活鰻卸問屋の三和淡水魚株式会社と直営店の飲食店「ての字」を継ぎました。

創業以来守り続けている「常に職人心を忘れず」をモットーに、主要産地から優れた養鰻家を選び、季節ごとに最高の鰻を仕入れるよう努めています。

建物の一階では、各地から届いた鰻が地下水を巡回させた桶の中で生きています。鰻の色を見ると、青く艶のあるものは体が柔らかく、茶色のものはやや硬めと分かるそうです。

鈴木社長から、修業時代より大切にしている



産地直送の鰻は、地下水を巡回させた桶の中で生きています



同じ鰻でも背中色の違いで、身の柔らかさが異なる。左の桶の青く艶のあるものは、体が柔らかい

鰻を捌く包丁をみせていただきました。鰻を裂く包丁は独特の専用包丁です。修業先の関西の包丁は、鰻を腹側から開く「腹開き」が得意な形状です。現在使用している関東の包丁は、鰻を背中側から開く「背開き」が得意な形状です。同じ日本でも、場所によって形も大きさも全く違います。

鰻と共に活き、老舗の伝統を守りながら、まちと共に生き、まちを愛する鈴木社長。

ビルが立ち並ぶまちの中で、地にしっかりと根付いた商売を続けている粋な芝っ子の情熱を感じました。

取材：森明 / 早川由紀  
文：早川由紀



三和淡水魚株式会社の直営店 株式会社ての字 二階は同じ直営店の飲食店 鰻・本丸(鰻のみ営業)

### Information

三和淡水魚株式会社  
西新橋 3-19-12  
TEL 03-3432-2561

# フィンランド・タンゴ 名曲コンサート開催

芝地区総合支所と慶應義塾大学が協働で開催している「ご近所イノベータ養成講座」では自分のやりたいことを地域につなげる活動の担い手“ご近所イノベータ”を輩出しています。ご近所イノベータ（講座修了生）とその仲間たちが企画を進めた国際文化交流のイベントが芝地区の会場で行われました。

去る2019年11月、東新橋の汐留ホールで、日本フィンランド外交関係樹立100周年記念「フィンランド・タンゴ名曲コンサート」が開催されました。フィンランド関係の方々をはじめ、区内外の多くの方々、芝地区にある他国の大使館の方々も来場され、国際色のとても豊かなコンサートになりました。

主催は、ご近所イノベータとその仲間たちが中心となって作った「Finnish Tango & Dance International Association」。2016年10月に芝地区で生まれた同団体は、フィンランドのタンゴを独自に研究・紹介し、地域に密着した文化として再構成する活動を進めています。本場フィンランドのタンゴ協会とも協力関係を築き、2017年にフィンランド・タンゴがフィンランド国内の無形文化遺産に認定登録された際には、国際的なアピール活動の一翼を担いました。

コンサート冒頭では、ベッカ・オルパナ駐日フィンランド大使からご挨拶をいただき、「私が妻と出会ったのも、実はフィンランド・タンゴ・ダンスパーティーでした」とのエピソードに、日芬友好を願う観客から盛大な拍手が沸き上がりました。



芝地区発の新しい国際文化交流の場が誕生しました



挨拶をされたベッカ・オルパナ駐日フィンランド大使

コンサートでは、オリジナルのフィンランド・タンゴをベースに独自のアレンジを加えた数々の名曲が演奏されました。フィンランドから初来日したピアニストによる華麗なメロディーに加え、即興で合わせたダンスも披露。それは「芝地区発祥の新しいダンス文化の創造」と言っても過言ではないかもしれません。

今回、初めてフィンランド・タンゴを耳にされた方も多く、来場者アンケートには「初めて聴く曲でありながら、どこか懐かしく深みのあるフィンランド・タンゴを知ることができて感謝します。ダンスも洗練されており、素晴らしいです」、「アルゼンチンタンゴとは趣が異なり、やわらかくて美しく、聴き心地がよかったです」との感想も寄せられました。その音楽とダンスに、新しい発見と親しみを覚えられた方がたくさん

※ラバタンシ：タンゴをはじめとする多様なダンスを誰もが平等に楽しめるフィンランド独自のダンス文化

## Information

Finnish Tango & Dance International Association  
<https://www.finlandtango.com/>



フィンランド・タンゴの演奏に合わせたタンゴ・ダンスが完全即興で披露されました

たようです。

今回のイベントでは、フィンランド国民の文化的財産であるフィンランド・タンゴやラバタンシ※を、独自のアレンジで新しい音楽文化に昇華させました。こうした他国の文化を斬新な方法で紹介し、柔軟なアイデアでイノベータさせる方法は、国境を越えて多くの人々に受け入れられているようです。

なお、今後も大使館に協力を仰ぎながらフィンランド・タンゴ&ダンスをモチーフにしたコンサートを企画される予定とのこと。その他、フィンランド・スタイルのダンス・ピラティス体験型イベントなど、ユニークで先鋭的な企画が盛りだくさんです。

さらに本国におけるフィンランド・タンゴのユネスコ無形文化遺産登録を目指す動きにも全面協力することになっており、フィンランド・タンゴ・ダンスを通じて、日本とフィンランドの国際文化交流をますます深めていこうとしています。

取材・文：田岡 恵美



ピアノソロによるスタイリッシュなフィンランド・タンゴ

## Report

# 戦時学童疎開を語る

## 御成門小6年生へ



昨年12月17日、区立御成門小学校(和田京子校長)では、6年生2クラス合同による「戦争体験語り部授業」が行われました。ゲストティーチャーとして語り部を務めたのは、私(※米原剛編集委員)を含め、戦時中にこの近辺にあった愛宕小、桜川小、竹芝小に通っていた5名です。私は当時小学3年生、ほかの皆さんは4~6年生で、それぞれ学童疎開を体験しました。

6年担任の吉村徹志先生から語り部に質問があり、語り部がそれぞれ答える流れで授業は進められました。

——学童疎開した理由は何ですか。

○激しい空襲が予測され、子どもたちの安全を確保するのが困難になったためです(昭和19年〔1944〕8月、学徒勤労令公布)。

——親元を離れるのはどんな気持ちでしたか。

○最初は遠足気分でしたが、後は大変でした。——地元の方はどのように送り出してくれましたか。

○出発前に各町会で、芝神明宮に安全祈願をしました。——疎開先ではどんな生活でしたか。

○桜川小では、栃木県塩原福渡戸温泉磯屋に3年生以上529名教員9名が一緒に。授業は旅館の大広間で全学年が合同で行われました。

○愛宕小では、栃木県高根沢村の豪農3軒に分宿しました。農家なので食糧は充分ありました。特に野菜。授業は地元小学校で共学でした。

○伊豆稲取の親戚に縁故疎開しました。授業は地元小学校で共学でした。——疎開先で困ったことは何でしたか。

○塩原福渡戸温泉は旅館街なので食べ物がなく、常に空腹でした。毎日の食事は干した大根の葉の多いヒバ飯で、中のお米は僅か一握りです。家から送ってもらった歯磨き粉などを食べお腹をこわす子もいました。また栄養不良で帰京した

ものの戦禍が激しくなり再び疎開、奥塩原の牧場近くの旅館で毎朝バターと配給で回復して、磯屋に合流した子もいました。

○稲取に縁故疎開した6年生は終戦5日前に戦闘機の銃撃を受けました。

続いて、スライドを用いて、当時の様子を語りました。

昭和20年(1945)5月25日の空襲により、田村町(現在の西新橋)の一部を除き、学区内のほとんどが全焼してしまいます。その翌日に桜川小の先生が新橋駅ホームから描いたスケッチです。



スライドを見て児童たちは、現在との違いに驚いていました。

8月15日には終戦を迎え、桜川小のみんなは旅館の大広間で全員が天皇陛下の終戦のお言葉を聞いて、涙を流しました。10月11日に塩原学寮から児童全員が帰京します。

今でも新橋駅のホームから街を見ると、先生の描いたスケッチと同じ情景が思い出されます。

最後に児童から質問と感謝の言葉があり、授業が終わりました。

同じ地域に住む「75年離れた同世代の子どもたち」に、生きているうちに当時の模様を細かく伝えることができうれしく思っています。

### ——担任感想

「学童疎開」については教科書では扱っても、その実態を知る機会はないので、貴重な時間をいただきました。当時の生活の様子や苦勞を知り、子どもたちが自分の生活を見直すきっかけになってくれたらと思います。

### ——児童感想

印象に残ったことは、皆さんが口をそろえて言った「食料の少なさ」です。今は食べたいときに何でも食べられる時代なので、とても驚きました。こうした生活の原因になる戦争を起すことはいけないと感じました。



スライドで写された、疎開当時の子どもたちのモンペ姿での記念写真

文・写真：米原 剛

取材協力：杉原俊雄(昭和29年桜川小卒)

参考文献：桜川—開校120年記念誌—

### 参加した語り部 昭和19年8月当時

尾島晴江	港区新橋在住	桜川小6年
清水軍治	港区芝公園在住	竹芝小6年
井口 孝	港区浜松町在住	桜川小5年
高橋道彦	江東区福住在住	愛宕小4年
米原 剛	港区新橋在住	桜川小3年 (敬称略)

### 学童疎開展

#### ——港区の学童疎開と疎開原画——

2020年7月5日(日)~7日(火)  
赤坂区民センター(4F多目的室)  
赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーふらざ内  
主催 学童疎開資料センター  
問い合わせ:TEL/FAX 03-3771-5811(吉川)



# 芝消防団

悲願の

# 初優勝!



令和元年11月16日(土)、東京消防庁消防学校において第49回東京都消防操法大会が開催されました。港区からは日頃より芝地区で活動している芝消防団が出場し、1隊補助者を含め6名で行う可搬ポンプ操法の部で悲願の初優勝を遂げました。

この部には、23区消防団から14隊が出場しました。可搬ポンプよりホースを3本延長し、63m先にある火点に見立てた標的を倒した後、付加操法としてホースを1本増加し、20m先の標的を倒す種目です。

審査は団員の士気・規律、機器の確実な操法や安全管理等について行われ、芝消防団はいずれも高い評価を得て栄誉を手に入れました。

芝消防団は第3回大会(1973年)に初出場し、過去の大会では準優勝3回、第3位3回と健闘してきましたが、優勝には惜しくも届かず悔しい思いをしてきました。

団員は総勢207名(男性130名、女性77名。令和元年10月現在)で、さまざまな年齢や職業で構成されています。大会に向けて、週3日午後7時から10時までの訓練



を、大会の1年前から行っていたそうです。

普段はそれぞれの仕事や家事をしながら、いざという時には地域のために活動をする団の皆さん。地域の安全安心を担う消防団の活躍が頼もしく感じられた嬉しいニュースです。

# アロマから はじまる

～高齢者セーフティネットワーク～

アロマテラピーは、  
心を通わせるコミュニケーションです

アロマテラピー(芳香療法)は、植物の香りや成分を利用して心を穏やかにしてストレス軽減を図ることで、心身の健康を保つ「自然療法」です。アロマテラピーの香りには、人の嗅覚を通じて脳に刺激を与えることで、認知症を予防する効果があります。さらに、植物から採取される植物油と精油をブレンドしたオイルを使ってハンドマッサージをすることにより相手の心を穏やかにしたり、手と手が触れ合うことで人と人のつながりが深まる効果が期待できます。

芝地区総合支所区民課は、「結びつき」「安らぎ」「共に生きる」をサポートするアロマテラピーを用いた各種講座を開催しています。

講座はすべて無料です。講座に参加したい方や団体等のご相談は、随時受け付けておりますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



プラザ神明フェスティバルではブース出展し、ハンドマッサージの施術と活動の紹介をしています

## 1 アロマテラピーハンドマッサージボランティア養成講座

50歳以上の方及び家族を介護している方向けに、アロマオイルを使用したハンドマッサージを高齢者に施術する「ボランティア」を養成する講座です。

1コース全3回。1回目に港区の実態、アロマの有効性、ハンドマッサージの技術講習を行い、2回目では参加者同士で施術を行いハンドマッサージの技術を高め、最後の回は高齢者施設に訪問し、利用者に対して実際に施術を行います。

講座終了後に、継続してボランティアを行いたいという方には、現在活動しているボランティアグループに合流していただき、区内4箇所の高齢者施設等で活動していただきます(現在、約40名のボランティアが活動しています)。

次回の講座は、令和2年10月頃開催予定です。

## 2 アロマテラピーハンドマッサージフォローアップ講座

1の講座受講後、実際にボランティアグループとして活動している方向けの講座です。

現在活動する4グループの技術の向上や、参加者同士が交流をして活動状況を共有する場として開催しています。

## 3 認知症高齢者の理解と知識の普及・啓発活動

### ①介護支援専門員及び介護職員のための介護技術講座

認知症高齢者と関わる機会が多い介護支援専門員及び介護職員に対して、医療介護福祉分野で注目されているアロマテラピーを解説し、在宅介護のためのアロマテラピー活用法を紹介しています。

また、介護をしている家族と関わる機会も多いことから、この方々へ、介護家族等への1の講座の紹介と周知を依頼しています。

### ②地域高齢者見守り講座(区内事業者、町会・自治会、サロン等の団体向け)

高齢者と接する機会が多い区内の事業者、町会・自治会、サロン等の団体を対象として、アロマテラピーが認知症に与える効果を解説します。

区内の高齢者実態や取組みについても講義し、増加する認知症高齢者を地域で見守ることの重要性を伝え、地域での見守り意識を高めています。

これまで日本電気株式会社(NEC)やテレビ局、郵便局、警備会社、大学、港区商店街連合会、民生委員・児童委員協議会で講座を開催しました。講座では、アロマテラピーの香りを嗅いだり、ご自分の気に入った香りの精油でローションづくりを行いました。

問い合わせ先  
芝地区総合支所区民課保健福祉係  
TEL 03-3578-3161

# 芝の家・ちゃぶ台日誌 冬編

どなたでも自由に入出りできる「まちの交流拠点」芝の家。日々近所の方から遠方の方まで、年代も0歳～学生～シニア世代まで、多種多様な方が立ち寄ります。



2019年12月7日、「冬の音楽会」が開催されました。最初はYANKO MUSIC ENTERTAINMENTさん達による生演奏。子ども達にも馴染みの曲が演奏され、初めて見る楽器の説明も受けながら、生演奏ならではの迫力に感動し、みんな聴き入りました。



続いて「音あそび実験室」の皆さんによる「影絵のおんがく」。影絵と音楽を組み合わせながら物語が進み、子供達も楽器を鳴らして楽しく参加しました。



そして最後はみんなで一緒にクリスマスの歌を奏でました。小さなお子さまから大人まで、みんな楽しく一足早いクリスマスを感じながら時間を過ごしました。



12月23日、旧拠点の取り壊しが始まりました。たくさんの方達の思い出が詰まった大切な場所が取り壊されることは寂しく、とても残念ではありますが、今後この場所では新しいことが始まっていく予定です。旧拠点での思い出を忘れずに、またみんなで大切な思い出を作って行きましょう。



さて明日の芝の家ではどんなことが起きるでしょう。

芝の家はボランティアスタッフを募集しています! 人と話すことが好き、地域に参加したい、まちづくりに興味がある、という方はぜひ芝の家までお問い合わせください!

### お知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月31日(火)まで「芝の家」「ご近所ラボ新橋」を一時閉室します。今後予定に変更がある場合は随時それぞれのホームページにてお知らせいたします。

### Information

芝の家  
芝 3-26-8  
TEL 03-3453-0474  
開室日時：火・木曜日/11:00～16:00  
水・金・土曜日/12:00～17:00  
休室日：日・月曜日、祝日  
<http://www.shibanoie.net/>

「ちゃぶ台日誌」は、芝の家ホームページにて日々の様子やイベントのお知らせを投稿するブログのタイトル。ぜひホームページも合わせてご覧ください。



## 健康トレーニング

<60歳以上の区民の方対象>



元気づくり事業の中でも参加者が多い人気の教室の一つです。楽しく体を動かしながら、筋力や柔軟性、バランス力の向上を図ります。トレーニングを続ける事で生活機能の維持向上や足腰の筋力維持向上に繋がります。各館とも4月からの前期、10月からの後期共に週一回開催しています。実施時間は90分、有資格者によるプログラムに沿った運動指導が受けられます。

## 肩こり予防改善教室

<60歳以上の区民の方対象>

令和2年12月より肩こり予防改善教室が新たに開講します。多くの方が腰痛や肩こりが気になる現代社会。デスクワークなど長時間同じ姿勢でいることで、肩周りの筋肉が張ったり、悪い姿勢が肩周囲への負担となります。

この教室では、肩周囲の改善に関する運動はもちろんのこと、それに伴う知識や肩への負担を予防する姿勢づくりも行います。令和2年12月～令和3年2月の毎週木曜日午前中に実施予定です。



## 頭とからだの健康教室

<65歳以上の区民の方対象>



頭とからだの健康教室が令和2年4月より新しくかわります。これまでは、ドリルや数字版を使用しながら、学習と体操を行っていましたが、グループディスカッションや、脳の活性化に繋がる筋力トレーニングが実施されます。日程は毎週金曜日の13時30分コースと15時コースで実施予定です。

## みんなの食と健口講座

<65歳以上の区民の方対象>

噛む力や飲み込む力などの口腔機能向上と口腔衛生、栄養状態の改善を図る講座です。歯科衛生士による講話、唾液腺マッサージや口腔体操。そして管理栄養士による栄養の講話、トレーナーと簡単な体操を実施。有資格者がさまざまな面から、お口の健康にアプローチしていきます。

口腔ケアは体全体の元気の源です。いつまでも食事を楽しむためにも、お口の清潔を保ち機能の向上を図りましょう。



## Information

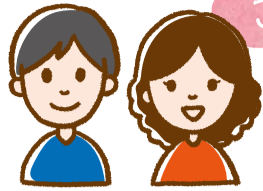
芝地区のいきいきプラザ3館ではそれぞれの施設で実施スケジュールが決まっています。詳細はご遠慮なく各館にお問い合わせのうえ、ご都合に合わせて参加しましょう。  
<https://shiba-ikiiki.com/>



- 三田いきいきプラザ  
芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
- 神明いきいきプラザ(プラザ神明)  
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
- 虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)  
虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



●写真・資料提供:百葉の会・東急コミュニティー共同事業体



こんにちは

# みなと障がい者福祉事業団です

第1回

NPO法人みなと障がい者福祉事業団は、港区と連携して障害者が社会に参加して企業などでいきいきと働けることができるよう、様々な支援をしています。

障害者の働く場として区役所や高輪地区の福祉売店、カフェやベーカリーだけでなく、一般就労を目指した就労移行支援事業所や清掃事業などを地域に密着して実施している、みなと障がい者福祉事業団の事業を4回にわたってご紹介します。

第1回は、芝1丁目にある港区立障害保健福祉センターの就労移行支援事業所「はばたき」です。

## 就労移行支援事業所「はばたき」

就労移行支援事業所「はばたき」(以下「はばたき」といいます。)は、障害者総合支援法に基づき、障害者の就労支援を行っています。

企業等への一般就労を希望する65歳未満の方に、原則として2年間で、履歴書等の書類の書き方、面接練習、就労に必要な知識と能力を習得する技能プログラムや、採用情報や企業実習の機会の提供など、きめ細かな就職指導を行い、それぞれの適性に合った企業への就労をサポートしています。

「はばたき」では、これまで清掃作業と訓練(事務)トレーニングを重ねて、就職を目指してきました。昨年4月からは訓練プログラムが大きくレベルアップして、新たに「就労準備プログラム」が始まりました。これは、生活スキル、コミュニケーションスキルなど、さまざまなスキルを獲得して、就職、さらには就労の定着を目指すプログラムです。

これまでの「就労訓練プログラム」の清掃作業に加え、「就労準備プログラム」を受けることで、生活する力、働く力を身につけていきます。就職した後は、定着するまで切れ目なく障害者の皆さんの「働く」を当事業団としてサポートします。

## 就労訓練プログラム

### ●清掃作業

「総合コース」では、障害保健福祉センターでの清掃作業を通じて、働くために必要なコミュニケーション力や体力、チームワークを身につけていきます。

### ●事務作業

当事業団内で使用する書類のスタンプ押しや配送物の封入等の事務作業を行い、最後まで仕事をやり遂げる力を身につけていきます。

## 就労準備プログラム

清掃または事務作業が終わったら、午後は就労準備プログラムを受講します。そのうちの一部をご紹介します。

### 就労準備プログラムの一週間の例

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
作業スキル	生活スキル	作業スキル	コミュニケーション	就職活動
・清掃スキル ・パソコンスキル ・事務補助スキル など	・調理実習 ・金銭管理 ・権利擁護 ・防災 など	・報告・連絡・相談 ・メモを取る練習 ・協力する力 など	・自分の気持ちを知る ・怒りを抑える ・仕事場での人間関係 など	・自己分析 ・履歴書作成 ・面接練習 など

## 「はばたき<総合コース>」1日の流れ

①	8:00~11:00	清掃(または事務)作業訓練
②	11:00~12:00	昼休み
③	12:00~13:00	清掃(または事務)作業訓練
④	13:00~15:00	就労準備プログラム

※<総合コース>とは別に①(または③)の時間に就職活動やコミュニケーションに特化したプログラムを行う「就職活動サポートコース」も選択できます。  
※「就労準備プログラム」だけを受けたい方も、ぜひご相談ください!



### ■調理実習

自立した生活のため、働くために必要な栄養バランスを考えた料理をつくります。



### ■タグラグビー

生活や仕事に必要な体力を身につけていきます。



### ■面接練習

就職の面接に向けて身だしなみや質問に答える力をつけていきます。

## 「はばたき」利用の流れ

同じ目的を持つ仲間とともに、「はばたき」で就職のためのトレーニングを行い、社会へとはばたいていきませんか。就職や将来に関して、困っていること、不安に思っていること、心配なことがありましたら、まずはご相談ください。

訓練の様子を見学していただき、就労トレーニングの実習を経て、ご希望に応じて利用開始となります。ご連絡をお待ちしております。

次号(6月号)では、区役所福祉売店の「はなみずき」と高輪コミュニティボラダの「ろぜはーと」をご紹介します。

## Information

特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団  
芝1-8-23 港区立障害保健福祉センター5階  
TEL 03-5439-8062 / FAX 03-5439-2515  
Eメール mswc@beach.ocn.ne.jp

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。  
ウォーキングマップとしてご活用ください。



1~20は旧町名由来板の設置場所

- 1 株式会社日テレ7 → P1
- 2 東京慈恵会医科大学附属病院 → P2
- 3 三和淡水魚株式会社 → P3
- 4 御成門小学校 → P5
- 5 三田いきいきプラザ → P6-7
- 6 神明いきいきプラザ → P6-7
- 7 虎ノ門いきいきプラザ → P6-7
- 8 芝の家 → P7
- 9 みなと障がい者福祉事業団 → P8

買い物するなら地元の商店街で  
Going shopping? Visit our local shopping streets.

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています  
伊藤早苗/菊池弓可/桑原庸嘉子/柴崎賢一/柴崎郁子/田岡恵美/千葉みな子/早川由紀/森明/森田友子/米沢恵美/米原剛(五十音順 敬称略)  
●今後の発行スケジュールは次の通りです  
2020.6(第55号) 2020.9(第56号) 2020.12(第57号) 2021.3(第58号) ※各号発行月の20日ごろ  
●芝地区地域情報誌の配布について  
芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所1階)  
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>